

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	保健福祉施策事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施 策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり		主管課長	豊田 武彦				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	保健福祉施策の円滑な運営と市民の理解とサービス利用の増進
事業内容	保健福祉の施策を推進するための事務執行と事業実績を冊子にし、事業（サービス）内容を的確に紹介している。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度は保健福祉施策事業と「流山の保健・福祉」発行事業が分割されていたが、平成23年度から統合され、保健福祉施策事業として、必要経費の旅費、消耗品、複写機等使用料を執行。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	「流山の保健・福祉」ホームページビュー数	0	0	0	回	↑↑↑	調査時の各年度ビュー数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 保健福祉の主な事業内容と3年間の実績をまとめた「平成29年度版」の「流山の保健・福祉」を作成し、市のホームページに掲載して市民の利用促進を図った	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,640,629	2,940,911	3,773,371				
事業費(b)(円)		59,329	881,411	1,759,771				
うち一般財源		59,329	881,411	1,759,771				
職員給与費(c)(円)		1,581,300	2,059,500	2,013,600				
人役・職員(人)		0.21	0.30	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	保健福祉施策の推進を図るため、流山の保健・福祉の作成を行った。	③取組の課題	今後も適正な人員を確保し、「流山の保健・福祉」を速やかに発行していくことが必要。
②今年度(H29)に実施した取組	「平成29年度版、流山の保健・福祉」の発行を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	適正な人員を確保し、速やかな発行に努める。